

## 実りの秋・笑顔の豊作

秋晴れとなった10月30日、吉木小学校5年生七十八人による稲刈が行われました。  
6月に田植えた苗が、天候にも恵まれ、すくすくと育ち黄金色した稲穂をJA青年部の説明を受けながら、てきわよく一かぶ一株大切に刈っていました。  
刈り取った米は、12月2日に保護者と一緒に餅つきをして、恵みの家などの施設に配られます。

9月定例会報告	2ページ
連合審査会報告	4ページ
全員協議会報告	5ページ
一般質問	6ページ
議会ひろば	10ページ

9月定例会  
6日~22日

補正予算・規約・契約・その他合計十議案と報告一件が審議され、すべて原案どおり可決された。また議員からは請願二件と意見書一件が提案され採択・可決された。

## 一般会計補正予算(第二号)に

## 四つの基本調査委託料

道の駅  
基本調査  
委託料

今日の社会情勢は、余暇時間の拡大や生活観の変化により物質的な豊かさでなく、家族とのふれあい、個人の趣味の満喫、時間の持つ価値を認め、豊かなライフスタイルを求める人々が増えている。

さらに、女性や高齢者ドライバー、長距離ドライブが増加するなか交通の円満な流れと、安心して休憩がとれる施設の設置が求められている。

こうした背景の中で、「基本構想」において定めた公園に機能・性格・理念・テーマ及びイメージに基づき、敷地の立地条件等を分析評価し、施設の内容・規模を設定し、景観・環境保全等の土地利用を定め、「道の駅」の三つの機能「休憩施設」「情報交流機能」「地域の連帯機能」が有効に発せられるか調査を行なう。

平成12年に策定された「岡垣町中心市街地活性化基本計画」で市街地整備改善計画の「一点突破」による早期核づくりとして位置付けている情報交流拠点施設としての駅前情報センターの建設に関しての、基本調査を行なう。

駅前情報センター  
基本調査  
委託料



## 漁業振興 基本調査 委託料

波津漁港は、周辺水域における水産資源の環境の悪化やこれまで過剰な漁獲等から漁業生産量の減少を招いている。

加えて、漁業従事者の減少や高齢化が深刻化しており、将来にわたり安定的な漁業活動を維持していく上で厳しい状況となっている。地域の活力低下が懸念されているところであり、この地区における漁業を核とした振興策への取組みが課題となっている。

漁業地域の振興にあたっては、漁業そのものを魅力ある産業に転換させるとともに、将来の漁業の担い手を確保していくことが不可欠である。また、漁業生産基盤の整備や漁業労働の負担軽減、居住環境の整備等、総合的に労働環境や生活環境を改善していくことが必要である。また、余暇の需要の増大・多様化が進む中で、海洋性レクリエーションニーズへの対応を検討し、都市と漁村との交流を推進していく必要がある。

これらを念頭において波津漁港を含む漁業地域の振興策について基本調査を行なう。

## 環境 ビジョン 基本調査 委託料 (町全体)

最近行った住民意識調査によると、岡垣町の住みよい理由として多くの方から

「自然が豊か」「公害が少ない」が挙げられている。また今後重要な施策としても、「自然環境を守る」や「ゴミのリサイクル、下水道の整備」などが強く要望されている。このことから「環境問題」に関する住民の意識が高まっていることが伺える。

現在策定中の第4次総合計画においても、「自然環境との共生」を重要な課

題として捉らえている。今後は環境共生を目指した施策を推進することが大切であるが、特に指標を設定した取り組みが必要であると考えます。

そこで、環境共生施策を総合的、かつ効果的に進めるため「岡垣町環境ビジョン」を早期に設定する必要がある、本年度その基本調査を行なう。

## 9月定例会議案の 議決状況

- 遠賀・中間地域広域行政事務組合規約の一部を変更する規約の協議について (可決)
- 旧慣による公有財産の用途廃止について (可決)
- 一般会計補正予算(第

- 二号) (可決)
- 国民健康保険事業特別会計補正予算(第一号) (可決)
- 公共下水道事業特別会計補正予算(第一号) (可決)
- 農業及び漁業集落排水事業特別会計補正予算(第一号) (可決)
- 水道事業会計補正予算(第一号) (可決)
- 西部浄化センター建築工事請負契約について (可決)
- 吉木第二污水幹線(その8)管渠築造工事請負契約について (可決)
- 平成11年度岡垣町水道事業会計決算認定について (認定)
- 平成11年度財団法人岡垣サンリーアイ管理公社決算報告について (報告)
- 介護保険・高齢者医療に関する請願書 (採択)
- 在日筑豊コリア強制連行犠牲者納骨式追悼碑建立基金拠出請願書 (採択)
- 高齢者が安心して介護保険と医療保険制度の改善を求める意見書 (可決)



環境ビジョン・駅前情報センター・漁業振興・道の駅の基本調査委託料について



勢屋 康一 議員

**問** 駅前情報センターを、何処に設置し、どのような構想を持っているのか。

**答** 駅前設置し、岡垣町民や町外者の為の情報発信センターとしたい。

**問** 東部公民館で住民票などの発行ができるが、情報センターでこの事務の取り扱いは考えていないのか。

**答** 情報センターでもできるようにしたい。

**問** 問題になっている。これからは獲る漁業から、育てる漁業に変わらなければならぬと思うが。

**答** 後継者不足は現実問題です。また漁業だけでは生計は成り立たない。安定した生活と魅力ある漁業にする為には今までの漁業を根本的に改革しなければこの問題は解決しない。

**問** まず、一番大事な事は漁業者の声を聞き、反映されなければならぬと思うがどうか。

**答** 水産専門の職員を採用しているの、漁業者との対話を重ね、先進地視察などを行いながら調査したいと思っている。

**問** 「道の駅」についてたずねる。

三里松原だけでなく、中西部の活性化を含めた基本



**問** 調査をしてほしい。

**答** 農産物だけでなく、海産物等も販売できる「道の駅」にしたいと考えている。また芦屋町、遠賀町でも「道の駅」を造る計画があると聞いている。補助金を考えたときに、岡垣町も早急に対応しないと出遅れてしまう。

設置場所を含めた、基本調査を早急に実施したい。



大堂 園治 議員

**問** 環境ビジョン、駅前情報センター、漁業振興、「道の駅」の重要な施策の調査を外部機関に委託しようとしているが、この重要事項は実現までには長期化が予想されるが、13年度がスタートとなる「第四次総合計画」や予想される遠賀四町合併などの大きな行政環境の変化に、どのように反映させるかが肝要と思うが、町はどのように考えているか。

**答** 調査結果を検討し、

推進すべきと決定したら「第四次総合計画」や、合併した場合、町づくり将来構想に十分組み入れていくよう最大の努力を傾注したい。

**問** 水道が敷設されていない家庭が町内約四百五十戸ある。

安全で安定的な水の確保は、水道や消火栓としての役割も大きいがこのような家庭に町としてどのように指導し、推進していくのか。

**答** 未給水地区は高台地区や人家の点在地域であるため遅れている。この地区の皆さんの意見も聞きながら、水道行政の向上を推進していきたい。

**問** 筑紫野市で水道料金の過徴収ミスが発生し、市民に大きな迷惑をかけた事

件があったが、当町ではこのようなミス防止のチェック機能は十分なされているか。

**答** 事件の内容を調査し、類似事件が生じないように関係者等と協議し、対応していきたい。

環境ビジョン・駅前情報センター・漁業振興・道の駅の基本調査委託料について





木原 信次 議員

全議員と町長以下、課長全員出席のもと9月6日と14日の2日間、全員協議会が開催された。

議題の中で、8月28日から9月2日にかけて政治団体が町内で行った街宣行動に対しての質疑が行われた。

各議員、執行部の質疑応答は次のようなことであつた。

**問** 街頭宣伝の内容は次のようなものであり、どのように対応しているのか。

一つは、岡垣町の公共工事は、一部の業者と癒着関係があり、はじめから業者を決めているのではないのか。

また下請業者も先に決めていたのではないのかと宣伝されている。

二つめは、町長が出張旅費を不正使用しているとの宣伝である。

**答** 一の公共工事の執行については法律・規則どおり適正に執行しており、そのような事実はない。

また指名委員会など制度的にもありえない。

二の公金の支出については担当課や財政主管課の決裁を終え、収入役室から支払われた後、監査委員から監査をうけるシステムになっており、不正な支出はできない。

**問** 町長に対しての個人的な攻撃の内容であつたが、どのように対処したのか。

**答** 「町長が辞めるまでやる。」などと意図的に誹謗中傷がくりかえされ、挫折をねらうて行われた。弁護士と協議し、抗議文を送付した。

**問** 自然災害などから住民の安全を確保する問題と、町の名誉、行政の信頼を損なう問題がある。緊急なときは、即刻議会を招集し、現状認識の周知徹底を図るべきだ。

**答** 町民の皆様や、議会に大変ご迷惑をおかけした。警察や法務当局との連携を含め、危機管理マニュアルを作成していきたい。今後とも町民の皆様様の信頼を得て身を引き締め、町政の執行に努めていきたい。

# こんなこと聞きました

## 一般質問



竹内 和男 議員



### 質問 遠賀郡の合併について

**問** 遠賀郡四町が、合併をすることになると、法定協議会の中で、新市建設計画を作成することになる。この建設計画には、新市建設の基本目標、庁舎の位置、規模等を設定する必要がある。

り、各町の総合計画における基本構想との整合性をはかる必要がある。施策の中で、特に他町にくらべ公園面積が少ない。災害時の避難場所、平常時は市民の憩いの場所として、一丁溜池・門田溜池周辺を近隣公園として整備すべきだがどうか。

**答** 庁舎については四町いずれかの現有庁舎を当面活用して、新市の本庁舎建設時期・規模などについては、新市になってから検討を進めていきたいと考えている。

第四次総合計画の中で、森林公園的なものを視野に入れて考えたい。公園面積は現在町民一人あたり二・六一平方メートルで、県平均八・〇三平方メートルより少ないので、平成17年までに四平方メートルまでにもっていききたい。岡垣町の

立場で合併の時期、庁舎の位置についての考えは、合併の時期は平成15年4月の統一地方選挙前が望ましいと考えている。

**問** 合併に向けて人事交流は必要と思うがどうか。

**答** 合併に向けての人事交流は必要と判断しているので各町と相談のうえ検討したい。

**問** 任協を含めて情報公開をすべきだがどうか。

**答** 合併にともなう遠賀郡将来構想の骨子案は承認されている。

いま、法定二十二項目を審議中であり、整理が出来しだい各町の広報誌でPRを実施したい。また、合わせて「任意協議会だより」を継続的に発行したい。



## 市町村合併



細川 光利 議員

**漁業振興と当面の具体策について**

**問** 波津漁業者の現状は高齢化、後継者不足、漁獲量減少、漁場海岸線の悪化、密猟者の横行などきわめて深刻な状況に迫込まれている。この現状を打開するためには漁業者だけの力では無理である。漁業法、沿岸

漁業振興法など漁業者を守るための、十三の関連法律がある。これらの法律を行政と漁業者が共同して活用すべきことが強く求められている。行政は思いきった



施策を講ずるべきだ。

**答** 福岡県漁業振興基本構想が平成7年3月に策定されている。最終年度は平成17年度である。同構想に波津が位置する筑前海区の振興方向として①栽培、資源管理漁業推進②沖合養殖技術の開発③漁協等の経営基盤強化④漁村の景観、特性の社会基盤整備などが示されている。

平成9年度波津地先でア

ワビ、サザエなどの増殖を

実施した。平成13年度に海域、漁業の事前調査、計画を実施する。平成15年度に事業採択を目指して漁業の基本的推進を行っていく。

**漁業振興の推進体制について**

**問** まちづくり、地域お

こしの観点から漁協、漁業者、町内消費者、異業種の人々と行政が共同した推進体制が必要である。行政に漁業振興担当の係長級の職員を配置すべきだ。

**答** 現状からみて漁業者

の生活安定は重要である。先進地視察、研修などを積極的に行っていく。日常的にも漁業者と連携していくためには専門職員の配置も必要である。



見かけることが少なくなったアジの天日干し

## 漁業者・大いに語る

(中西部地域観光開発に関する調査特別委員会)

10月7日、委員会は波津漁業組合長他四名と波津漁業の現状、これからの展望について懇談会を行ないました。波津海岸一帯は私達が青年の頃までは福岡県下でも数少ない純自然海岸地帯として、潮騒がひびく美しい風景に満ちあふれていました。今は県下の多くの海岸線が人工海岸になり大きく変わってしまいました。漁業者は語りました。「漁業は昔も今も命がけの厳しい仕事だが割の合わないもんだい、昔はヤズ一匹と米一升が相場だった。」と昔を語りはじめました。しかし今は違ふと顔を曇らせ語気を強めて言います。「海の問題悪化で魚が少なくなった。その上外国から海産物がどんどん輸入される。このままでは自分一代の事しか考



波津漁港

**問** 町が学童保育を公設公営で行うことについては、大変評価する。施策の改善課題とその方向について答弁を求める。

**答** 現在近傍の学童保育所の資料を収集しながら検討している。指導員の身分保障・待遇の改善や備品の整備などが考えられるが、近いうちに学童保育所の運営委員会、指導員、教育委員会の三者で懇談会を開き、ニーズを把握し、その上で施策を講じていく。

**問** 海老津学童保育所の改築を建設されて12年が経過している。プレハブ造りのため老朽化が進んでいる。

学童保育所の社会的位置づけは大きく変化しており、子供たちにとって夢ある施設であることが求められて



久保田秀昭 議員

## 学童保育施設の充実を



改築が待たれる海老津学童保育所

いる。吉木はログハウス、山田は改築される。

海老津は子供の数も多く狭い、早急な改築が必要である。

**答** 来年度から始まる第四次総合計画の前期計画に計上し、できるだけ早い時期に改築したい。関係者と協議を重ね、より良いものを建設したい。

**問** バリアフリーの町づくりをお年寄りや障害者に

やさしい町づくりのためにJR海老津駅前広場の点字ブロック近くのひどい段差の解消や駅にエスカレーターを設置を求める。

**問** この医療費助成制度は、対象住民の医療費自己負担分を県が三分の二、町が三分の一を助成して、保健の向上と福祉の増進を図り、命と健康を守っていくという制度である。

## 乳幼児・重度心身障害者・母子家庭等の医療費助成制度について

降補助率を引き下げたい意向が示されている。町村会の調査の結果、補助率を二分の一に引き下げ



平山 弘 議員

と、県内町村で年間七億円以上の負担増になると、町の考えを聞きたい。

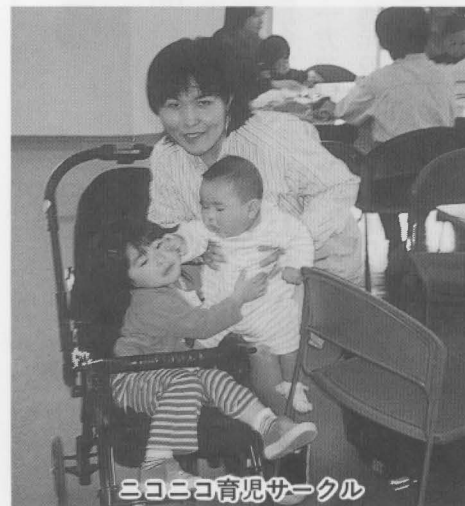
**問** 町の考えを聞きたい。

**答** 町として、住民の保健・医療・福祉サービス向上のために全力を傾注しているが、県の積極的な支援がないと、

**答** 県は財政危機を乗り越えるために「緊急財政改革実施計画」を策定して取り組んでいる。

その中で、平成13年度以

所期の目



ニコニコ育児サークル

的を達することは極めて困難になる。

**問** どのように対処していくのか。

**答** 福岡県町村会として「補助率を現行どおり維持するように強く要望する」旨の要望書を提出する予定である。

**問** 県に強く要求してもらいたい。

町の負担が大きくなることは重要な問題である。あわせて、町議会として、また県町村議長会としても福岡県にこの制度の見直しをしないように強く要求していただきたい。

議長を取り計らいを要望する。





矢島 恵子 議員

**問** 公設トイレの美観、構造について。  
**答** 駅・都市公園・各公共施設のトイレは不特定多数の利用者のために設けられた施設であり、利用者にとってわかりやすい位置で、明るく清潔でなければならぬ。快適な公共トイレは作る人、管理する人、利用する人の連携によって実現される。

**問** 役場のトイレの改修  
**答** 共同参画社会の実現の推進について平成11年6月に男女共同参画社会基本法が施行された。

しかし本町の附属機関の委員会には女性委員の登用数が少数である。もつと多



と外来者トイレの設置。  
**答** 外来者と職員のとイレを別に設置する気はない。本館一階のトイレは増改築によりわかりにくい所にある。高齢者や身障者の人にも使用しやすいトイレに

平成13年度予算で改修を行う。



1日500人~600人の利用がある海老津駅公衆トイレ

**問** 「男女共同参画社会」  
**答** 男女共同参画社会の推進を第四次基本計画の中に位置づける。女性の人も意識改革をしていただきたい、また自ら参画すると言いう意欲を持つてほしい。

数の女性委員の登用が望まれている。  
**答** 各委員会規約で町長が任命できるものと、出来ないものがある。改正できるものは変えていきたい。

**問** 男女共生社会の推進は、岡垣町の基本計画の中で住民の啓発を推進することが一番大事なことだと思うが。  
**答** 近年、居住人口の減少や空き店舗の増加などで空洞化が深刻な問題になっている。

## 富山県八尾町行政視察から

(中心市街地活性化に関する調査特別委員会)

富山県八尾町は人口約二万二千三百人、面積二百三十六・八六平方キロメートルで岐阜県に接した第二次産業が主な町。

近年、居住人口の減少や空き店舗の増加などで空洞化が深刻な問題になっている。

町は「町の活性化対策の一つとして身近で便利な商業基盤づくり、伝統的行事の実行、文化の継承、そして石畳、白壁、黒壁などの歴史的町並み維持に力を注ぎ、各施設の整備が行なわれている。」

特に公衆トイレは、町並みや周辺の景観を損なわないよう木造建築になっており、24時間誰でも利用できるようになってきている。



町の景観にあった公衆トイレづくりが行なわれている

平成12年第3回岡垣町議会定例会審議結果表

会期	月	日	曜	開議時刻	摘 要	備 考
第1日	9	6	水	午前9時30分	開 議 会 員 指 名 会 議 期 間 の 決 定 提 出 者 の 提 案 理 由 説 明 議 案 に 対 す る 質 疑 託 委 員 会 付 託 決 議	初 日
				本会議終了後	全 員 協 議 会	
第2日	9	7	木	午前9時30分	文教厚生常任委員会	
第3日	9	8	金	午前9時30分	経済建設常任委員会	一般質問
第4日	9	9	土	※※※※※※※※	休 会	
第5日	9	10	日	※※※※※※※※	休 会	
第6日	9	11	月	午前9時30分	総務常任委員会	午後 合併任意協議会
第7日	9	12	火	午前9時30分	遠賀郡の合併特別委員会	農業委員会
第8日	9	13	水	午前9時30分	市街地活性化特別委員会	
				午後1時30分	観光開発特別委員会	
第9日	9	14	木	午前9時30分	全 員 協 議 会	
				全協終了後	議 会 広 報 委 員 会	
第10日	9	15	金	※※※※※※※※	休 会	敬老の日
第11日	9	16	土	※※※※※※※※	休 会	
第12日	9	17	日	※※※※※※※※	休 会	
第13日	9	18	月	午前9時30分	連 合 審 査 会	
				午後2時30分	全 員 協 議 会	
第14日	9	19	火	午前9時30分	一 般 質 問	
第15日	9	20	水	午前9時30分	一 般 質 問	
				一般質問終了後	文 教 厚 生 常 任 委 員 会	
第16日	9	21	木	※※※※※※※※	予 備 日	
第17日	9	22	金	午前9時30分	委 員 会 報 告 委 員 長 に 対 す る 質 疑 対 策 討 究 会	最終日 午後 合併任意協議会



※都合により日程を変更する場合があります  
 ※議会開催前に審議予定表を東部・中央・西部公民館にて配布しています  
 ※常任委員会・特別委員会などを傍聴される方は、事前に事務局へご連絡下さい。



10月9日ふれあいスポーツデイ・グラウンドゴルフ大会が町民総合グラウンドで開催された。六十チーム、四四七人の参加者があり、小雨降るなか熱戦が繰り広げられました。  
 第二グループの開始早々雨が強くなり、最悪のグラウンドコンディションとなりました。クラブをもつ手にも一段と力が入るが、ボールは思うように飛びません。結局、この日は午後のゲームは中止となりました。これまでふれあいスポーツデイで雨が降ったことはなかった。やはり体育の日が10月10日から10月の第二月曜日に変わったのがいけないのかなと参加者の一人は言っていました。

編集後記

環境ビジョン・駅前情報センター・漁業振興・「道の駅」の基本調査委託料が補正予算で議会に上程され可決されました。  
 平成13年度より始まる第四次総合計画の中でも重要な施策となっている。  
 総合計画とは、長期的視点にたつて岡垣町が目指す将来像や基本目標の実現に向けての考えかたや方策を示すものです。  
 第四次総合計画は、今年末にも策定を終え、委託した基本調査の結果も13年3月までには出ると思われます。  
 全国の市町村で総合計画が作成されていますが、地方分権の時代、地域独自のまちづくりが求められています。  
 行政職員や限られた人達によるまちづくりは限界に達しています。  
 全ての町民が自分たちに出来ることは自分たちで行っていたら、この事が愛着ある故郷づくりにつながるかと考えます。  
 議会広報委員会  
 委員長 木原 信次  
 委員 竹井 和明  
 委員 勢屋 康一  
 委員 下川 良壽  
 委員 曾宮 良壽